

令和 2 年度 第 1 回番組審議会 議事録

開催方法 : 今回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、委員による試聴レポート提出にて、書面での開催といたしました。

提出者 : 番組審議会委員 4 名

委員名 : 金子 富康、上田 薫子、伊藤 ゆかり、斎藤 進治

事務局 : 藤芳 祥子、濱野 歩、岩崎 和沙

議事録 : 藤芳 祥子

議題 1 議題の放送番組全般に関するご意見・ご感想

審議番組名「モナオと奈々子のごきげん歌謡曲」収録放送

パーソナリティ：モナオ、正木奈々子

放送時間 5月15日 PM 19:00～19:30 放送

■ 議題番組について (事務局から文書にてご説明)

【番組制作のきっかけ】

戸塚区には幅広い年齢層の方がお住まいになりますが、関東圏のなかで戸塚店は利用者の平均年齢が高く、演歌歌謡曲のジャンルも歌われる率が高いと某カラオケボックスのチェーン店の本部による統計が報告されています。戸塚の街にふさわしいテーマの番組を制作し、演歌歌謡曲を聴いていただきたいと考えました。

【経緯】

2020年3月までは60分番組として制作、月に2回放送していましたが、この4月にリニューアルし、30分番組というかたちで、毎週1回を放送しています。

【2020年リニューアル内容と目的】

これまでは、最新曲から昭和、平成の名曲をセレクトしてご紹介する番組でしたが、30分になったので、ゲストの最新曲を中心にご紹介する番組になりました。

基本、演歌歌謡曲の歌手をゲストに出演していただいております。

戸塚出身や戸塚、横浜で活躍する方もお呼びしますが、NHKの歌番組に出演する全国的に有名なゲストさんをスタジオにお呼びすることで、エフエム戸塚を聴いていただくこと、戸塚、東戸塚の知名度を上げることもこの番組の役目だと考えます。尚、新型コロナウイルス感染拡大の影響でスタジオにゲストをお呼びすることが難しく、当面は、ゲストさんからコメントをいただき、最新曲をご紹介するという構成をとっております。

■ 各審議委員からの試聴意見・感想は以下の通り

審議委員 (A)

- ・スタートからの二人の会話がとってもスムーズでした。
- ・奈々子さんが美容師資格を持たれていると言われていたフレーズも、耳を傾けてしまいました。

- ・コンセプトは地元の歌謡番組と言う位置づけでしょうか。
- ・ゲストを著名人（歌手）にするのは良いと思いますが、如何しても好き嫌いが出てしまいますので、ご一考いただきたい。
- ・放送時間は19：00～ですから、やはりながら聞けると内容と思いました。
- ・時間の関係も有ると思いますが、やはり30分に一回は交通情報・電車状況も聞きたいです。
- ・とっても短い30分でした。

審議委員（B）

- ・季節や世の中の情勢を捉えた選曲になっていて、聞いている人が各自、自分の思いを歌詞や曲調に投影していたのではないかと思います。
- ・途中、モナオさんと奈々子さんのトーク部分でバックに流れるBGMが、トークを邪魔することなく、かつトークの軽快なテンポを後押ししており、聞いていて良かったです。
- ・普段、聞かないジャンルの歌や歌手の歌が聞けるのは、ラジオの良いところだと思います。

審議員（C）

- ・私自身がラジオを聞き慣れていないためか、1回目さっと聞いた際には番組に登場する方がどなたなのか、どういう方なのかについて頭になかなか入って来ませんでした。2回目注意して聞き直すと、お名前も、その方の歌であることもちゃんと語られていましたが・・・。
- ・ラジオは特に傾聴ということだけでなく聞く方も多なかで、どのような方針で番組を作られているのか、興味が高まりました。

番組審議員（D）

- ・出だし、奈々子さんの生い立ちに触れ、「住み慣れた土地を離れざるを得なかった」「住み込みの仕事」あるいは「一時間百円のアルバイト」の話は、私自身の年齢（72歳）世代と重なるような気もして、果たして奈々子さんはお幾つかな？と関心を持ちました。思っきり時代をさかのぼったようでもあるが、苦労人のお人柄を表すエピソードからのイントロ部分を感じ入ったリスナーも多いのではないのでしょうか。
- ・番組制作の紹介にもあったように、戸塚のリスナーは年齢層が高いことを意識して、演歌・歌謡曲を聞いてもらいたいという意図が理解できました。
- ・今回のゲストは氷雨をヒットさせた日野美歌と聞いたが、30分番組の中でどのように出演するのだろうか、と番組の構成に注目していました。
- ・奈々子さんの生い立ちとも重なるように、日野美歌さんは「桜の刻」や「いのりのうた」には、願い、出会いと別れ、恋愛やそれらの儂さなどが込められていると紹介されていました。奈々子さんの生き方に沿ったかのような、ゲストとのメッセージ対談だったように思います。思わず日野美歌さんのプロフィールをインターネットで追って、幅広活動をしていることを知り、また「コロナ、ぶっ飛ばせ！プロジェクト」を楽しませてもらいました。
- ・このお二人の番組は以前に何度か聞いており、モナオさんのライブも聞いたことがあります。今回はCDを聞いて、モナオさんの歌声がとてもソフトで優しさが溢れているようでした。奈々子さんとの掛け合いのときの

話し方とだいぶ違うような印象があり、ある意味モナオさんの人なりの両面をラジオは感じさせると思ったし
だいです。ラジオの面白さかもしれません。

■ 事務局から

本番組に関して、昨年度までは1時間番組・月2回であったものを、今年の4月の改編時より、30分番組・月4
回（毎週放送）というかたちでスタートしていますが、昨年度の第1回番組審議会の議題番組の際には、主に下
記ご意見をいただきました。

【2019年5月16日開催・主なご意見】

- ・リスナーの対象をどこにおいているのか
- ・聴取対象層の想定がわかり辛い
- ・選曲の意味がわかり辛い
- ・トーク掛け合いが井戸端会議のように感じる
- ・歌謡曲への熱い思いが伝わってきた

これらのご意見を踏まえて、パーソナリティは向上心をもって取り組む姿勢がみられ、また今回の下記ご意見を
拝見し、取り組みの成果があったと感じています。しかしながら、新体制での番組としての今回のご意見を受け
とめ、今後も更なる改善に取り組んでまいります。

【今回の主なご意見】

- ・二人の会話がスムーズ
- ・出演者のトークの軽快なテンポ（バック BGM の後押しがプラスされ）が聴いていて快かった
- ・戸塚のリスナーは年齢層が高いことを意識して、演歌・歌謡曲を聴いてもらいたいという意図が理解できた
- ・季節や世の中の情勢を捉えた選曲である

議 題 2 エフエム戸塚の放送に関するご意見ご感想について

■ 各審議委員からの試聴意見・感想は以下の通り

審議委員（A）

- ・コロナウイルスの関係（非常事態宣言）で、家にいる時間が多く如何してもラジオを聞く機会が多く有ります。ここからは小生の個人的な感想です。
- ・毎週 12:00～14:55 まで戸塚井戸端会議と言う番組が流れていますが、この時間は一日の中で丁度中間に当たり、昼食やゆったりしている時になります。何曜日の放送とは申しませんが、言い回しの間違い、その訂正の仕方や交通情報の伝え方・ニュースの読み方等、とっても素人のように聞こえる時があります。
- ・番組のコンセプト及び方針が判らないのですが、小生がラジオを聞くときはやはり、耳に心地よい言い回しで有ったりプロの言葉の使い方だったりを期待します。リスナー離れがとっても心配です。番組構成に一考をお願い致します。

審議委員（B）

- ・新型コロナウイルス感染症の状況下、番組構成などにもご苦労されることも多いと思いますが、時間を捉えて、良い企画を放送されていると思います。
- ・特に 4/29 放送の 11 周年企画では、様々な方からの応援メッセージにたくさんの方が元気をもらったのではないのでしょうか。

審議委員（C）

- ・リスナー層に関するデータ等、可能な範囲で共有いただけますと、番組審議委員を勤めさせていただくうえで、また栄区として広報のご協力をお願いさせていただく際にも大変参考になると思います。ご検討いただければ幸いです。

審議委員（D）

- ・議案 1 にも書きましたが、ラジオの面白さはリスナーとパーソナリティの対話の面白さだと思っています。別の番組に送ったメールがあります。

「30 年以上前の深夜放送のディレクターが回顧していたが、パーソナリティとリスナーとの間には、時には兄弟であったり、親父であったり、親友関係が生まれてくる。リクエストのハガキに次第に人生相談まで書かれてくる。今はメールだが、当時の SNS がハガキだった。媒体は違うが昔も今も基本的な関係は変わらない。」という内容です。今回の番組は 30 分と短いのでハガキ紹介までの時間はないかもしれませんが、きっとリスナーからの声もお二人には届いていることでしょう。

■ 事務局から

- ・2020 年度春の番組大改編に伴い、4 名の新人パーソナリティが仲間に加われました。4 月 1 日のスタートに向けて、研修をしてきましたが、スタート後も随時指導を行っております。実践のなかで放送技術を養う部分もある考え、毎放送前のフォーマット・キューシートの確認と、放送後の打ち合わせを欠かさず行います。リスナーの皆様のご意見等をいただき、番組制作に生かすために、エフエム戸塚ホームページ上に、レビュー（会員制）欄を設ける準備をしています（7 月初旬スタート予定）。

具体的には言い回し・訂正の仕方・伝え方・ニュースの読み方等、改善に努めてまいります。

- ・今年は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、エフエム戸塚開局記念 4 月 29 日のイベント開催ができませんでした。そこで、放送を通じて、コミュニティ放送局としてできることを考え、日頃の感謝の気持ちを込めて、応援企画特別番組を朝・昼のワイド生放送のなかで実施いたしました。また、継続しての取り組みとして、朝生放送では「応援メッセージ企画」、そして全生放送番組では「Enjoy Stay Home Info 企画」を実施しています。

皆様のご協力に感謝申し上げます。

- ・リスナー層に関するデータについては、各番組のコンセプトを強くし、ターゲットを設定していますが、聴取率と同様に数値まで調査ができない状況です。首都圏のラジオ局は共同でビデオリサーチなどに依頼し 2 か月に 1 回調査を行っています。コミュニティ放送局は金銭的な理由で対応しきれず調査は行っていません。弊社の場合はリスナーの反応を、アプリのダウンロード数から目安の数字にしております。アプリはネットワーク環境

が整っていれば、どこでも聴くことができます。1ダウンロードにつき、業者に対し一定の料金を支払うシステムになっています。現在、ダウンロード数は約2万5千件です。今後も方法等、検討をまいります。

・リスナーとパーソナリティとの対話・間柄を大切に考えています。様々なかたちで繋がりが持てるよう、努めてまいります。

■ 上記、各審議委員からのご意見に事務局から下記の回答を併せて、郵送いたします。

■ 次回の番組審議会開催について

エフエム戸塚の「新型コロナウイルス感染拡大防止への取り組み」について、7月以降も継続して行っていきます。次回開催につきましては、今回同様、紙面において開催を予定しております。

追って、議題・音源データをご送付いたします。その際には、ご協力のほど、お願い申し上げます。

以 上